

マリア・ブラウンの結婚 (1979)

DIE EHE DER MARIA BRAUN
THE MARRIAGE OF MARIA BROUN

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 西ドイツ
色彩 Color
時間 120分
初公開日 1980/02/02
公開情報 フランス映画社
映倫 G

【解説】

第二次大戦中に結婚し、翌日には夫を戦場に送り出した“悲劇のヒロイン”が、劇的な戦後の変化に耐え、その復興精神を体現するかのような意志力と打算で混乱の世の中をいかに渡り切ろうとするかを描く。夫の戦死の報を受けた主人公マリアは、失意から立ち直り、やがて米軍の黒人駐留兵と親しくなったことから活路を見出し、彼との間に子供も作るが、結局、そのスキャンダラスな関係が破滅を招いていく……。ヒロインから更に発展していく物語に、民族の歴史と精神の暗部を探るファスビンダーのまなざしは鋭い。彼が作ったといっても過言ではない名女優シグラは、この入魂の演技でベルリン映画祭主演女優賞を獲得した。

【クレジット】

監督	ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー	Rainer Werner Fassbinder	
製作	ミハエル・フェングラー	Michael Fengler	
	フォルカー・カナリス	Volker Canaris	
	ヴォルフ=ディートリッヒ・ブルッカー	Wolf-Dietrich Brücker	
原案	ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー	Rainer Werner Fassbinder	
脚本	ペーター・メルテシャイマー	Peter Marthesheimer	
	ペア・フレーリッヒ	Pea Frohlich	
撮影	ミヒャエル・バルハウス	Michael Ballhaus	
編集	フランツ・ヴァルシュ	Franz Walsch	
	ユリアーネ・ローレンツ	Juliane Lorenz	
音楽	ペール・ラーベン	Peer Raben	
出演	ハンナ・シグラ	Hanna Schygulla	マリア・ブラウン
	クラウス・レーヴィツェ	Klaus Lowitsch	ヘルマン・ブラウン
	イヴァン・デニ	Ivan Desny	カール・オズワルド
	ジゼラ・アーレン	Gisela Uhlen	母
	エリザベート・トリッセナー	Elisabeth Trissenaar	ベティ・クレンツ
	ゴットフリート・ヨーン	Gottfried John	ウィリー・クレンツ
	ハーク・ボーム	Hark Bohm	センケンベルグ
	ジョージ・バード	George Byrd	ビル
	クラウス・ホルム	Claus Holm	ドクター